

◎SAS(睡眠時無呼吸症候群対策)

列車を運転するすべての運転士や監督者は、定期的に検査器具「パルスオキシメータ」を睡眠時に装着してSASのスクリーニング検査を実施しています。その結果、SASの疑いが認められ精密検査で治療が必要と診断された者は、医師による治療を行う体制をとっています。

- ①運転士及び監督者に対して健康診断で把握
- ②検査器具で簡易検査実施
- ③SASの疑いがある者は精密検査実施
- ④SASと診断を受けた場合治療開始



◎出退勤点呼とアルコールチェッカー

列車を運転するすべての運転士や監督者は、乗務前の出勤点呼において、アルコールチェッカーを使用して、酒気を帯びていないことを確認しています。また、監督者との対面点呼を行い、健康状態も確認しています。



3-3 安全投資

2010年度を含め過去5年間の安全投資の実績と2011年度の安全投資計画です。

(億円)

分類	年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011(予算)
安全関連設備投資		63.3	88.7	112.7	140.5	97.7	107.0
その他の鉄道事業設備投資		46.9	26.2	26.0	47.5	54.5	45.3
計		110.2	114.9	138.7	187.9	152.2	152.3

